



上中里

平成18年12月22日
学校だより
冬休み特別号
横浜市立上中里小学校

「うまれてきて よかった」

学校長 坂田 映子

今年もあと9日で終わりです。何をしてきたか思い出せないくらいの仕事をしてきました。先生方も子どもたちも足並みをそろえてよくやってきたなあ感慨深く思います。PTAの皆さんも、土日に出る機会が多く、閉校式委員会が始まってからは、いよいよわあわただしくなりご苦勞をおかけしました。おかげさまで順調に大切な事が決まっていくのがとても嬉しい限りです。

久しぶりに校長室の椅子に座っていたら、ヒヨドリが寄ってきました。今どき、珍しいメジロも2羽、姫リングをつついていました。振り返ってみると、久しくヒヨドリのことを思いやる暇もなかったように思います。私に余裕があれば、ヒヨドリは寄ってきますが、忙しいと寄ってきません。きっと外から見ていて分かっているのだなと苦笑してしまいました。

ある校長先生が、学校便りに「山深自鳥啼」について、書いておられました。

「山が豊かな緑で覆われ、木の実もたわわに実ればいろいろな鳥が寄ってきて、楽しそうなさえずりが山のそこかしこから聴こえてくる。学校でも、教師が自らを磨き、人間性を高めていくことで山を深くする。そういう教師に教わっているクラスの子どもたちは、楽しく集い、心地よい歌を歌い始める。それは、地域や保護者も同じであり、お互いの信頼関係という山を深めることによって、さらに歌い始めるのだ。」という内容でした。

忙しいときはなかなか気がつかないことです。でも、年の瀬を迎え、今年一年がどうであったかをほんの少しでも振り返るなら、このことがきっと分かっていたいただけるものと思います。

ところで、子どもたちが「人権週間」でつくった標語の中に感動的な作品がありました。

作品1 「 生まれてきてよかった 6年」

作品2 「 人は弱い、だからみんな助け合う 5年」

きっと、この子どもたちの親御さんは一生懸命我が子を育ててこられたのでしょう。作品1の言葉の中に親御さんに対する深い愛情を感じます。作品2には、かつて自分にもあつたろう悲しさを温かい気持ちで包もうとする、あるいは強さを感じます。子どもたちは「親の生き方」を見ています。どのように生きているかを小さいながら学んでいきます。かけがえのない家族こそが、一人一人の子どもたちを深く育てていきます。それを支えていくのが学校の教師なのです。

今年も一年間お世話になりました。よいお年をお迎えください。恵みの風が吹かれますようお祈りしています。

感謝のみ。

「みんなの思いを集めよう」にご協力を

今年も児童会活動で、体の不自由な人や世界の困っている人を助けるために、自分たちにできることをしようという趣旨で、「みんなの思いを集めよう」の活動を行います。

冬休みの間にご利用になった空き缶のプルタブや書き損じ葉書や使い終わったカード類を集めておき、下記の期日にお子さんに持たせていただければ幸いです。

- ☆ 期 間 1月15日(月)～19日(金)
- ☆ 集める物
 - ・ 1円玉・5円玉・10円玉 (15 10募金)
 - ・ 書き損じ葉書
 - ・ カード類 (使い終わったテレホンカード・バスカード等)
 - ・ プルタブ (たくさん集めると車いすに替えることができます。)
- ☆ 集める場所 中央階段1階 及び 各教室

ウィンターコンサート

12月9日(土)に本校体育館で上中里小学校・浜中学校・磯子高校の3校合同のコンサートが行われました。会場には、保護者・地域の方々が多数集まり、大変盛り上がりました。

アンケートより

- 毎年楽しみにしています。上小は年々上手くなっているのがとても感じられます。浜中・磯高と年齢をおうごとに、演奏にもスケールの大きさがうかがえます。来年も又来ます。皆さん頑張ってください。
- 小・中・高と聴かせていただくと、どんどん音楽に対する情熱が高まってくるのがわかります。皆と一緒に、良い音楽を作るという楽しさ、苦しさ、悩み、そんなことを経験して良い人間に育てられていくのを味わうのが、今の時代、大変有意義なことと思います。
- どの演奏もとても素晴らしかったです。特に上中里小の演奏は、小学生がよくここまで演奏できるな と思いました。このようなコンサートが7回目ということで、とても良い企画だと思います。
- とてもすばらしかったです。さわの里小になっても続けてください。毎年楽しみにしています。



冬休みの明けの新年朝会 **1月9日(火) 8:30** 下校 12:30

＜持ち物＞

うわばき、連絡帳、ふりかえりカード、学習の準備

※特別バスケットボール・サッカークラブの練習再開は、**1月11日(木)**です。

上中里フェスティバル



ちよつときんちようした

二年

ぼくは、しぜんランドをやつてきんちようしました。ぼくのおかあさんやいろんな人が来てきんちようしたけれどんしゅうより、うまくできてよかったです。

おにいちゃんのはつびようを見にいきました。そこでは、紙にいろをつけてもようを作りました。水がつきすぎたけれど楽しかったです。

手話と点字の歴史

四年

ぼくたちは、上中里フェスティバルで手話と点字の歴史について発表しました。パワーポイントでクイズをしながら説明しました。来てくれた人はとてもよく聞いてくださり、「手話と点字の歴史がよくわかりました。」「いろいろな人の努力で手話や点字ができたことがわかりました。」と感想を書いてくれました。

そして、調べたり、発表したりして分かったことを、手話を教えてくれたふれあいサークルのみなさんに伝える会を開くことができました。

ぼくがこれからやっていきたいことはもつといろいろな手話や点字を覚えて、耳や目の不自由な人にあつたら、その人たちの気持ちを考えて、行動していきたいです。また、もし、耳や目の不自由な人とくらすことになつても、差別や無しや、その人のいやなことなどはしないように、ずっと心がけていきたいです。

そして、これからも手話や点字をわすれないように、いろいろな人たちと仲良くしていきたいと思ひます。

とくべつな日

三年

今日はとくべつな日でフェスティバルでした。

ぼくの発表したグループは、「国きワールドヘレッツゴ」でした。ぼくはアメリカの国きのことをしらべました。

うまくきれいな声で、はっきりした声で発表しました。練習をしたので自信がきました。

しのはら先生も来ました。ぼくは、いっぱいきれいな声でできたらいいなと思ひました。

これからも発表するときそうしたいです。楽しかったです。



かみなカントービレ

六年

ぼくは、音楽室で『かみなカントービレ』として、楽器の分類、主に打楽器の種類やその特徴について発表しました。

お客さんとぼくたちで『森のくまさん』をいろいろな楽器を使って演奏したり、一つ一つの楽器について詳しく説明したりしました。最後に音楽のアンケートをとりました。

『森のくまさん』の演奏の時、みんなは笑顔でやってくれました。調べたことを発表した時にはうなずくようにしてくれました。

みんなで演奏した『森のくまさん』は楽しくできてよかったです。ぼくは、『かみなカントービレ』をやって、音楽がますます好きになりました。



今年で最後のフェスティバル大成功

五年

私は、今年で最後の上中里フェスティバルで、「上中里放送局」という題で、放送のしくみと、機械の説明とキャストの体験をしました。私は、キャストの体験の担当でした。低学年や、私の仲よし活動のバディに、やさしく丁寧に説明してあげられたと思います。説明どおりに大きな声でニュース原稿を読み上げてくれ手、楽しそうにしている、私もうれしくなりました。

だんだんお客さんがふえてきて、いそがしくなってきました。来てくれた人が、みんな楽しんでるのを見て、放送のグループのみんなが、がんばってやったおかげだと感じました。キャストの担当がすることを、しっかりとできたと思います。

来年氷取沢小学校の人達といっしょにやります。今年のように上手くいくといいです。



おもしろかったフェスティバル

一年

「たのしかったね。」とかいちゃんがいいました。わたしはこころの中で、わたしも楽しかったな、とおもいました。

わたしはエルフの音読をして、又いろんなおんどくをしたいなあとおもいました。うたはきれいにうたえてよかったです。こんどはちがううたできれいにうたってみたいです。おかあさんやおとうさんがはくしゅをしてくれて、とてもうれしかったです。クラスのみんなでちからをあわせて、げきやうたをもっとたくさんやってみたいです。じぶんたちでかんがえたげきやおんどくもやってみたいなど、こころの中でおもいました。

きょうの上中ぎとフェスティバルはさいごだったのでいじにしたいです。